

## 2011年1月1日～2021年12月31日の間に 当科において中枢神経原発悪性リンパ腫の治療を受けられた方及び ご家族の方へ

「当院における中枢神経原発悪性リンパ腫の後方視的解析」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学血液内科学	講師	清水 里紗
研究分担者	川崎医科大学血液内科学	臨床助教	武田 考平
	川崎医科大学血液内科学	臨床助教	近藤 陽介
	川崎医科大学血液内科学	大学院生	内田 圭一

### 1. 研究の概要

中枢神経系原発悪性リンパ腫(PCNSL)は、中枢神経系にのみ発生する侵襲性のリンパ腫で、稀な疾患であり、しばしば予後不良となることがあります。PCNSLの導入化学療法は、高用量のメトトレキサートによる併用化学療法が推奨されています。また、条件療法として、自家末梢血幹細胞移植を伴う大量化学療法や低線量全脳照射が行われています。しかし、標準的な治療戦略は不明です。

2011年1月1日から2021年12月31日の間に当院にて診断されたPCNSLの患者のうち、いままでPCNSLに対して治療を受けたことがなく、かつ、当院にて化学療法を施行された患者14名を電子カルテから後視的に収集し、評価します。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

(当院単独の研究の場合)

2011年1月1日～2021年12月31日の間に川崎医科大学附属病院血液内科においてはじめて中枢神経原発悪性リンパ腫の治療を受けられた方を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2023年3月31日

#### 3) 研究方法

当院において2011年1月1日から2021年12月31日の間に当院にて診断されたPCNSLの患者のうち、いままでPCNSLに対して治療を受けたことがなく、かつ、当院にて化学療法を施行された患者について、診療録から情報を習得します。

化学療法による効果および有害事象については、診療録の記載内容からデータを収集し、解析します。

#### 4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、治療効果、有害事象の発生状況等

#### 5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学血液内科実験室内施設可能な保管庫で保存させていただきます。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年1月1日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### < 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院血液内科

氏名：清水 里紗

電話：086-462-1111 内線 27513（平日：9時00分～17時00分）

E-mail：lisa.0412@med.kawasaki-m.ac.jp

#### 3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。